

単元名:韓国語でエントリーシートを書く

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	自分と身近な人びと	言語レベル	3	必要時間数	12時間

I 単元目標

韓国の姉妹校の日本語のクラスと「将来の仕事」というテーマで文集を交換し、コメントのやりとりをして、その結果を学校新聞に発表することができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<p>◆自己アピール、自分の経験、人生の目標やモットー、将来の夢についてある程度の長さの作文を書くことができる。</p> <p>◆自己アピールの方法や企業側の評価ポイントに、日韓に違いはないか留意してエントリーシートを書くことができる。</p> <p>◆韓国の姉妹校から送られてきたコメントをクラスで読むことができる。</p>	<p>◆職業や企業の種類、若者に人気のある職業を日韓で比較して異同を調べ、自分の考えと比べることができる。</p> <p>◆仕事に対する考え方について、日韓あるいは個人レベルで多様性があることに気づくことができる。</p> <p>◆韓国関連の企業について調べ、人気のある企業の特徴を日本の場合と比較することができる。</p> <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<p>◆さまざまな職業があることを知り、それぞれの職業の社会的意味を考え、自分の適性などを踏まえて、「将来の仕事」についてクラスメイトと意見交換ができる。(知識理解、高度思考)</p> <p>◆音声(映像)により、自分を表現することができる。(情報活用)</p> <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

<p>コミュニケーション能力指標</p>	<p>【自分と身近な人びと】</p> <p>3-a.自分や身近な人の特徴(得意なことや不得意なこと、長所・短所、性格など)について、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。</p> <p>3-b.好きなことやもの・人について、その理由を含めて、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。</p> <p>3-c.自分の経験(うれしかったこと、つらかったこと、感動したことなど)について、語りあったり、書いて伝えたりできる。</p> <p>3-e.自分の人生の目標やモットーについて、口頭でまたは書いて紹介できる。</p> <p>3-g.将来の夢や希望について、語りあうことができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>
----------------------	---

### Ⅲ 学習活動と評価

プレコミュニケーション活動（語彙・表現習得活動）	学習を助けるための評価（形成的評価）
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自己アピール・他己アピールをしよう。【3-a】</li> <li>◆今、何になりたいか、尋ねよう。【3-g】</li> <li>◆家族や身近な人の職業体験を日本語でインタビューし、そのポイントを韓国語でまとめて発表する。【3-c】</li> </ul> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆職種、業種、労働条件に関する語彙リストをつくる。（表現の正確さなど）</li> <li>◆就職先候補リストをつくる。（必要な情報など）</li> <li>◆格言、ことわざの日韓対照表をつくる。（理解の正確さ、想像力など）</li> </ul>

#### コミュニケーション活動（学習シナリオ）

<p>&lt;場面状況&gt; F高校の韓国語のクラスに韓国の姉妹校の日本語のクラスから文集を交換したいという申し出があり、「将来の仕事」というタイトルで生徒が作文を書き、デジタル文集を作成することになった。</p> <p>&lt;活動の流れ&gt; 生徒たちは自分がアピールできること（自分の長所・得意なこと・関心）、自分の経験、人生の目標やモットー、将来の夢を表現するために必要な文型や語彙を考え、既習事項を復習したり、新しい文型や語彙を学習する。 韓国の会社に求職すると想定して、履歴書の適切な欄に韓国語で簡単に自分のことを書く練習をし、それをもとにある程度の長さの作文を書く。お互いの作文を見せ合い批評し、どのような書き換えたらより良いものになるかをグループで考え、編集し合う。デジタル文集をまとめる担当の生徒を決め、締め切りまでに韓国語の作文を提出する（写真、図表、年表の追加可）。また、文字はなく、ビデオで音声や映像を使用してもよい。まとめ担当の生徒は文集をまとめ、いろいろな面から評価し、コメントがほしい旨のメールを付け加えて、韓国の交流校に送る。 韓国の交流校から同様の内容の日本語のデジタル文集が送られてきたので、クラスでそれを読み、それぞれがコメントを書く。自分たちの将来の夢と韓国の生徒の将来の夢を比べ、クラスでディスカッションをする。コメントをまとめる担当の生徒がクラスのコメントを韓国語でまとめ、韓国の交流校に送る。 韓国の交流校からはこちらから送った文集への評価、コメントが送られてくるので、それをクラスで読み、韓国の生徒の反応について話し合い、自分たちの意見をまとめる。この交換の経緯、結果、日韓の生徒の共通点、相違点、また、自分の将来のために何を学んだかをまとめ、学校新聞に発表する。</p> <p>ヒント☞ ◆エントリーシートを書くことを想定して、韓国語クラスで準備し、先生に提出する。</p>	
<p>&lt;目標達成度を測る全体的評価（総括的評価）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆文集に入れる作文を書く、あるいはビデオを作る。（伝えようとする姿勢、オリジナリティーなど）</li> <li>◆韓国から送られた作文にコメントを書く。（内容理解、意図理解、自分の感想や意見の表出など）</li> <li>◆文集交換の経過、結果を学校新聞に発表する。（表現の的確さ、表現の正確さ、分かりやすさ、伝える工夫など）</li> </ul>	
<p>&lt;使用教材・教具&gt; 韓国の高校生の文集</p>	
教室外（人・モノ・情報）との連繫	他教科の内容との連繫
韓国の高校生の文集、交流校、学校新聞	産業社会と人間、総合的な学習の時間